



▲叙勲の伝達が行われました

9月4日(水)、瑞宝双光章を受章された中村順吉さん(本巣市)に、宗宮町長より伝達が行われました。

中村さんは、昭和29年に徳山村職員として採用された後に、昭和34年から23年間は収入役、昭和57年から5年間は助役を務められました。

在職期間中は、職員の指導や村幹部として村長の施政を支え、村の生活環境を著しく向上させるなど、数多くの功績を残されました。

さらに、徳山ダムの建設による旧藤橋村との円滑な編入合併や村民の移転に尽力されました。

また、平成元年9月からは、移転先の旧本巣町で町議会議員として町政の発展に貢献されました。これらの功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。受章おめでとうございます。

叙勲(瑞宝双光章)受章



▲徳山弦水会演奏の様子

9月7日(土)、「第4回芸能の夕べ」が開催されました。三輪神社境内で行われる予定でしたが、雨天のため会場を揖斐小学校体育館に移して行われました。

この音楽イベントは、町の中心市街地を活性化させようと、地元の女性らで実行委員会をつくり毎年開催されています。演奏会には、二胡奏者の汪成さんと旧徳山村出身の現代津軽三味線奏者の徳山弦泉さん率いる徳山流弦水会が出演しました。

震災復興を祈って作曲された「悲しみの向こう」などを披露した汪成さんは、切なくも美しい二胡の音色で会場を魅了していました。

また、「津軽じょんがら節」などを披露した徳山流弦水会は迫力のある音色で来場者を惹きつけていました。

第4回芸能の夕べ

「伝統的な邦楽で観客を魅了」



▲息ぴったりの音色が響き渡りました

9月8日(日)、揖斐川町中央公民館で揖斐川中学校主催の「第39回定期演奏会」が行われました。

この演奏会は、3年生の部員にとつては部活動の最後を締めくくる演奏会で、1、2年生の部員と併せて31人が練習の成果を披露しました。

3部構成で行われた演奏会は、第1部で、夏のコンクール曲の「ミス・リバティー」や「レ・ミゼラブル」を演奏。第2部、第3部では、「女々しくて」や「嵐メドレー」などおなじみのポップス曲を披露しました。

会場に詰めかけた300人の来場者は、迫力ある演奏に大きな拍手を送っていました。

揖斐川中学校吹奏楽部定期演奏会

「31人が息の合った演奏を披露」



▲坂内広瀬地区の敬老会の様子

9月15日(日)に町内在住77歳以上の方を対象に「平成25年度 揖斐川町敬老会」が久瀬地域、藤橋地域、坂内地域で開催されました。

宗宮町長は式典で「地域の歴史・文化など多くを受け継いでこられたことに感謝を申しあげます。長年の経験と知識を活かしていただき、次の世代へと繋がっていくようご支援を賜りたい」と式辞を述べました。

各会場では、式典のほか、地元の園児や児童、ボランティア団体などによる多彩な催しが行われ、参加者の笑顔で溢れていました。

なお、9月16日(月)に開催を予定していた、揖斐川地域、谷汲地域、春日地域の敬老会は、台風の影響で中止になりました。

揖斐川町敬老会

「各地域で長寿をお祝い」

白樫踊

～地域ぐるみで伝承～

9月15日(日)、豊作を祈る白樫踊りが披露されました。

白樫踊りは、およそ800年の歴史を誇り、源氏の武将が平家に勝利したことを祝って踊ったのが由来とされ、江戸時代に日照りが続いた際に、大垣藩主の戸田家が命じて踊ると雨が降り、その功績を称え、その家紋である九曜星を付けることをゆるされたといわれる伝統の舞です。

この日は、雨天のため、白樫神社(ふれあい伝承センター)のみの披露になりましたが、クジャクの羽根のような五色のシナイを背負った踊り子は、笛や鐘の音に合わせ、胸に抱えた太鼓を打ち鳴らし勇壮に踊りました。



▲ふれあい伝承センターでの白樫踊

第4回キャンドルフェスタ開催

～4000個の手作りランタン～

9月28日(土)、揖斐高原貝月リゾートで第4回キャンドルフェスタが開催されました。

このイベントは、スキー以外の揖斐高原の楽しみ方を提案しようと、一般財団法人いびがわが開催しています。町内の小学生が製作したペットボトルランタン約3500個がゲレンデに並べられ、幻想的な光景が広がっていました。訪れた来場者は、感嘆の声をあげて揺らめくランタンの光を楽しんでいました。

また、会場では、ビンゴ大会も開かれ来場者の人気を集めていました。



▲やさしい光が灯りました

揖斐警察署に交通安全ポスター

～事故防止を伝えたい～

9月20日(金)、秋の全国交通安全運動(9月21日～30日)に合わせて揖斐川剣道少年団の小学5年生児童4人が揖斐警察署を訪れ、交通安全ポスターを届けました。

4人のポスターには「飛び出し注意」や「もう一度 左右の確認」などの事故防止を伝えるメッセージとイラストが描かれていました。

ポスターを受けとった揖斐警察署の堀部署長は、「事故防止の啓発に活用させてもらいたい。皆さんも交通事故に気を付けて」と話しました。

ポスターは、署内に掲示されたほか、町内のスポーツ少年団の児童が描いたその他の作品は揖斐川健康広場に掲示されました。



▲ポスターを届けた剣道少年団の児童

夜空に浮かぶほうろ

～川上ほうろ踊り～

300年以上前から伝わる「川上ほうろ踊り」が9月21日(土)、坂内地域の八幡神社例祭で奉納されました。

川上ほうろ踊りは、農作物の収穫に感謝し、雨乞いを祈願する踊りとしてじまったとされています。踊りは総勢約30人で、ほうろを背負った太鼓打ちと警固(けいこ)と呼ばれる着物姿の踊り手に別れて踊ります。

踊り手が背負う「ほうろ」は、白い綿の塊で飾られた竹で、長さは5メートルほどあります。

夜に行われるこの踊りは、鐘や太鼓をたたき、薬師堂や八幡神社で披露され、飾られたほうろは、賑やかな音色とともに、夜空に舞いました。



▲薬師堂前でのほうろ踊り



▲保存会が伝統の舞を披露

9月23日(月祝)、坂内坂本地区で秋の大祭が行われ、神の踊りが五社神社で披露されました。
神の踊りは、400年ほど前より伝わる芸能として受け継がれており、五穀豊穡と家内安全を願い踊られています。
踊りは昔の趣を守り、風情豊かに踊られており、全国の民俗芸能の中で質の良い風流太鼓踊りだと評されています。現在は、坂本神の踊り保存会(平野克彦会長)が伝承しており、地元の中学生から70代までが地域ぐるみで保存しています。
華やかな衣装に身を包みゆったりとした独自の舞は、この日も多くの観客を魅了していました。

坂内坂本神の踊り



▲豊作に笑顔を見せる児童ら

9月26日(木)、ぎふの棚田21選に認定されている春日美束の貝原棚田で春日小学校の児童が稲刈りを体験しました。
この取り組みは、児童らが自然に触れ、先人の知恵を学ぶ目的で毎年行われています。
秋の風が吹くこの日も、長靴姿の春日小学校全校児童36人がたわわに実った米を収穫しました。
収穫した米は、春に児童自らが植えたもので、5か月あまりの期間で大きくなった稲に児童らは驚いていました。
また、今年は暖かい気候が続いたため稲の発育がよく、昨年の3割増しの収穫ができたようです。収穫した米は12月の収穫を感謝する会で振る舞われる予定です。

春日貝原棚田で稲刈り体験

〈収穫の喜びを伝えたい〉



▲街頭啓発をする春日中の生徒ら

9月30日(月)、秋の全国交通安全運動の最終日に、春日中学校の生徒3名が揖斐警察署前の国道303号線で交通安全の街頭啓発を行いました。
この日、一日警察官に任命された春日中学校の生徒3名は、警察官の制服に身を包み、通りかかった車のドライバーや同乗者に安全を呼び掛けました。
また、街頭指導には、生徒の他に揖斐警察署員、交通安全対策協議会、交通安全女性、揖斐建設業協会等のメンバー約70人が参加して交通安全啓発グッズを手渡しました。
生徒らに一日警察官を委嘱した揖斐警察署の堀部署長は、「郡内で死亡事故が4件発生している。今後も皆さんに協力してもらいたい」と話しました。

春日中生徒が一日警察官

〈警察署前で街頭啓発〉



▲マラソンに参加した牧村さん(左)と山本真理子さん(右)

10月2日(水)から10月9日(水)まで、アメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市とのマラソン交流事業が行われました。昨年のいびがわマラソンで優秀な成績を収めたランナーの皆さんが、10月5日(土)のセントジョージマラソンに参加し、完走されました。成績は次のとおりです。(敬称略)
山本 泰明 2時間31分34秒 (男子フル)
加古 光江 2時間54分04秒 (女子フル)
牧村 哲男 3時間39分46秒 (男子フル)
山本真理子 3時間44分35秒 (女子フル)
553位 1093位 14位 18位

セントジョージマラソン 国際交流事業